



## 「下水道ストックマネジメント支援制度」の活用支援

### ～「ストックマネジメント支援制度」の活用～

#### 1. 背景

下水道施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図ることなどを目的として平成28年度に設立された「下水道ストックマネジメント支援制度」に基づき、今後は下水道施設の再構築や長寿命化対策の実施にあたってはストックマネジメント計画を策定する必要があります。

#### 2. 内容

##### ① 施設情報の収集・整理

既存資料を参照して基本情報の整理を行うとともに、必要に応じて現地確認を行います。その際、JSが開発した「AMDB」（アセットマネジメントデータベース）の活用等、効率的なデータ管理についても提案します。

##### ② 点検・調査計画の策定

施設の経過年数や重要性等を勘案して、リスク評価、施設管理の目標設定、長期的な改築事業のシナリオ設定、保全区分の設定等を行います。この結果に基づき、点検・調査を実施する頻度、優先順位、単位、項目等を整理し、点検・調査計画として取りまとめます。

##### ③ 詳細調査

点検・調査計画に沿って、資産単位または部品単位で詳細調査を行い、劣化状況を把握します。

##### ④ 健全度算定

詳細調査の結果を踏まえ、対象施設・設備の健全度を評価します。

##### ⑤ 健全度予測

健全度予測を基礎に、ライフサイクルコストの最小化ならびに施設の地球温暖化対策や処理方法の高度処理化等についても考慮しつつ、最適な再構築・長寿命化対策について検討を行います。

##### ⑥ 修繕・改築計画（改築実施計画）の策定

以上の検討を踏まえて、直近5年以内における対策範囲、改築方法、実施時期・概算金額等を整理し、修繕・改築計画（改築実施計画）として取りまとめます。

#### 3. JSの強み

##### ① 長寿命化計画策定のための業務マニュアルの作成

JSでは、これまで実施してきた業務等を通じて得た様々なノウハウを基に、平成20年度末に長寿命化計画策定のための業務マニュアル作成、平成21年度に一部改訂を行いました。このノウハウ等の一部は現在のストックマネジメント計画策定業務に活かされるとともに、国土交通省の「下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン2015年版」にも反映されています。

##### ② 豊富な検討実績

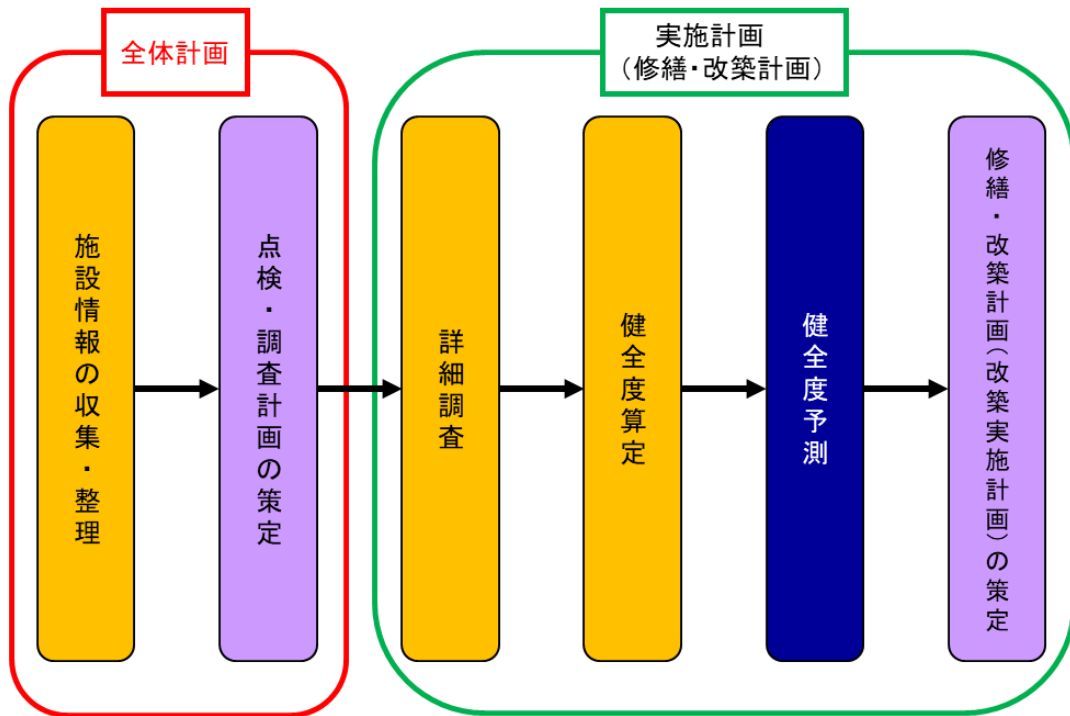
下水道長寿命化支援制度および下水道ストックマネジメント支援制度について、平成30年度末までで約560団体において調査・計画策定を実施しています。平成30年度においては約250の団体（過年度からの継続を含む）において調査・計画策定を実施しました。

#### 問い合わせ先

DX 戦略部 システムマネジメント課	TEL 03-6892-2020
東日本支社 設計部 計画設計課	TEL 03-3818-1449
西日本支社 設計部 計画設計課	TEL 06-7661-1228



### ストックマネジメント計画策定フロー



### 長寿命化からストックマネジメント(SM)、アセットマネジメント(AM)へ (SM、AMの段階的な導入)

○長寿命化計画策定も、SM、AMも、対象施設を把握し、健全度の評価を行い、劣化予測に基づいて計画を策定するという基本的なアプローチは同じ。

(対象とする施設の範囲や財政管理の面が異なる)

○SM点検調査計画において、リスクが高いと評価された箇所から順次、その後の「点検調査の実施」以降の実施範囲を拡大していくことで、最終的に全施設に対してAM手法を導入することも可能。

